

# タケトップ 遮熱

水性一液型 防水層用遮熱断熱保護塗料

＜水性艶消し・骨材入り・弾性タイプ 軽歩行用＞

## 特徴

- ① **環境配慮型塗料** 水性材料アクリルエマルジョンを使用した安全性と作業性に優れた水性塗料です。
- ② **優れた遮熱断熱性** 赤外線反射に優れた顔料とセラミックパールの相乗効果で優れた遮熱性能を発揮します。
- ③ **防水層の保護** 遮熱断熱効果に優れている為、下地の材料を赤外線から長期的に保護します。  
また、弾性塗膜である為、下地の伸縮に追随し、耐久性・耐摩耗性にも優れています。

## 用途

タケシール#101・タケシール1液カラー防水・タケシールゴムシート・アスファルトシート・卷材ルーフィング等の屋根、外壁、遮熱断熱

## 塗装仕様

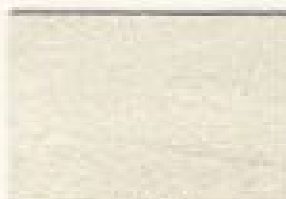
部位	タケシール #101	タケシール 1液カラー防水	ゴムアスファルト シート	砂付アスファルト シート	瓦葺 ゴムシート
下地調整	ゴミ・塵分等の付着物を高圧洗浄機又はデッキブラシ等で洗浄後十分に乾燥させて下さい。				
プライマー	タケシール AQ遮熱プライマー塗布 0.4kg/m <sup>2</sup> ×1回塗り（標準値） ※卷材アスファルトルーフィングの場合、骨材の量により塗布量が異なります。 （塗装開始時気温以上20℃）				タケシール ゴムシートプライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>
タケトップ 【遮熱】	0.4~0.6kg/m <sup>2</sup> 1回塗り	0.4~0.6kg/m <sup>2</sup> 1回塗り	0.4~0.6kg/m <sup>2</sup> 1回塗り	0.4~0.6kg/m <sup>2</sup> 1回塗り	0.4~0.6kg/m <sup>2</sup> 1回塗り
タケトップ 【遮熱】	0.4~0.6kg/m <sup>2</sup> 2回塗り	0.4~0.6kg/m <sup>2</sup> 2回塗り	0.4~0.6kg/m <sup>2</sup> 2回塗り	0.4~0.6kg/m <sup>2</sup> 2回塗り	0.4~0.6kg/m <sup>2</sup> 2回塗り

（注）塗装開始時気温以上20℃。塗料使用は、roller（ローラー）または、roller（ローラー）スプレー（モルタルガン・リシンガン）

※タケシール#101への塗布は1回のみです。タケシール#101への塗布は2回以上塗布ください。

※タケシール#101への塗布はプライマーを塗布する前に、高圧洗浄機で洗浄してください。タケシール#101への塗布は2回以上塗布してください。

## 標準色



ホワイト



グレイ

## 荷姿

タケトップ「遮熱」

1缶 20kg / 約125~25㎡

標準仕様 5ℓ-約15kg/150㎡・4kg/40㎡・1kg/10㎡

標準仕様 5ℓ-約15kg/75㎡・4kg/30㎡

竹 林 化 学 工 業 株 式 有 限 公 司

## 裏面温度比較データ

下地	タケシール #101	タケシール 1液カラー防水	砂付アスファルト ルーフィング	ゴムアスファルト シート	加硫 ゴムシート
裏面温度差	-14.4℃	-16.3℃	-17.6℃	-28.9℃	-18.2℃
(タケトップ塗料塗布後 裏面温度)	(43.9℃)	(43.9℃)	(43.6℃)	(42.9℃)	(44.1℃)
(防水層裏面温度)	(58.3℃)	(60.2℃)	(61.2℃)	(71.6℃)	(62.3℃)

注、上記のデータは夏場の晴天で気温32.5℃時に屋外で測定したものです。塗布剤はホワイト

上記の表により、**タケトップ 塗料**を塗布すれば、塗膜の表面・裏面の両面で温度上昇を抑えることができます。その為、物による防水層の塗膜の劣化を防ぐとともに、建物内部の室内温度の上昇も抑えることができるので、夏場のエアコンの電気代も下げることが可能です。

## 塗 装 上 の 注 意 事 項

- 【塗膜の厚さ】  
 ●乾燥温度が15℃以下、湿度が70%以上の場合は避けて下さい。  
 ●塗布場所、塗布回数や塗布回数・間隔、気温が下がる場合は、塗布を避けてください。  
 (塗地、下地の状態)  
 ●塗布前に防水層の状態をよくし、腐食、フクレ、剥離、塵埃など汚れの多い場合は、防水層全体の修繕を行ってください。  
 ●塗布前の夜、塗地などを十分に乾かし、乾かして下さい。  
 ●下地、下塗り材、十分に乾いていることを確認してください。  
 ●ハンターウレタン防水材上に塗布する場合は、必ず、**厚膜型プライマー**をプライマーとして塗布ください。また、塗布にアスト塗料を行い、防水の信頼性を、タケトップ 塗料を塗布してください。  
 ●ターコウレタン防水材上への塗布は、しないでください。  
 (塗布作業について)  
 ●タケトップ 塗料は水で希釈しないでください。  
 ●タケトップ 塗料を水で希釈する場合は、清水3%以下で行ってください。塗料の希釈が完了されている状態で希釈に際して行って下さい。  
 ●タケトップ 塗料を水で希釈しますと、以下の様な問題が起りやすくなります。  
 - 防水層の下より、塗地の希釈液が起る。  
 - 防水層の上より、塗料が硬化よりも早く乾く。  
 - 塗膜内で塗料の分離や塗料の起りが起り、塗膜の強度が弱らなくなり、防水効果がなくなったり、劣化を生じたりする。  
 - 塗膜表面に塗料が起る、表面はベタつき、下層部に塗料が起れる。  
 - 塗膜内部に起る起り、塗膜強度が平均一になり、接着力が低下する。  
 また、乾燥しにくくなり、硬化水分が塗膜内部により発生し、フクレの原因になる。  
 ●塗料は均一になるまで攪拌してからご使用下さい。また、泡を巻き込まないように、ご注意ください。  
 ●タケトップ 塗料の塗布量は、標準塗布仕様書に従って下さい。一度に厚く塗ると乾燥途中でクラックを生じたり、乾燥時間が長くなり、夜露などで塗膜不良が生じやすくなります。  
 ●砂付ルーフィング等の凹凸の多い下地で タケトップ 塗料を塗布する場合、厚く塗りすぎると、塗膜が厚くなったり、塗膜に厚くあると、クラックが生じることが、あるので、規定量を均一に塗り付けてください。  
 ●切欠などの凹凸部に塗布する時は必ず施工前に予備アストを行い、両面がないことを確かめてからご使用下さい。  
 ●塗料は均一に塗り、タレ・溜まり・塗り残しがないようにしてください。特にコーナー部・ジョイント部等には、刷毛などで入念に塗り付けてください。但し、厚く塗けないようにしてください。コーナー部分等はタレ・溜まりが起りやすく、部分に厚くなり、クラック・乾燥不良が起ることがあります。  
 【塗料の希釈について】  
 ●塗料は、刷毛、ローラー、スプレーガン等が使えますが、使用後は乾かないうちに洗ってください。  
 ●塗料の希釈の材料は必ず調整し、濁りたりしないように注意し、こぼれたものは塗地からよく取ってください。  
 【その他】  
 ●塗料が完了後、初期に、気象や気温があった場合、ドレン部等に泡が発生することがありますが、塗膜の劣化によるものではありません。  
 ●弊社仕様書以外の仕様によるクレームはご一切責任を負いません。

## 取 扱 上 の 注 意 事 項

- 塗料の希釈の場合  
 ●引火性液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。  
 ●吸入すると、有毒物質中毒をおこす恐れがありますから、換気をよくし、悪臭・スプレーミストを吸い込まないよう必ず防護具を使用してください。  
 ●塗布作業場所には換気扇を設置してください。  
 - 有機ガス用防毒マスクまたは活性炭マスク・顔の長袖の作業服・入りタオル・保護手袋・保護メガネなど  
 ●臭いや塗料品・飲食器・衣類などにうつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるまたは養生するなどして、十分注意してください。  
 ●塗料から取り出す時はこぼれにくいようにしてください。もしこぼれた場合には、布でふき取って、水が入った容器に保管してください。  
 ●火災発生時は消火器がガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い、可燃物火を消してください。  
 ○水溶性塗料の場合  
 ●塗料は皮膚に付けないようにし、必要に応じて下記の防護具を使用してください。  
 - 防護マスク・顔巾・保護メガネ・長袖の作業服・標準タオル・保護手袋・保護手袋など  
 ●塗料から取り出す時はこぼれにくいようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスでふき取るが、砂などを巻き上げた後、処理してください。  
 ○塗料の希釈・水溶性塗料の希釈は標準仕様  
 ●塗料に付着した場合は、塗地は多量の石鹸水で洗い落とし、傷みまたは付着に硬化がある時は、塗地の修繕を受けて下さい。  
 ●塗料、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時は、空気の清新的場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。  
 ●目に入った場合には直ちに多量の清水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。  
 ●塗料が顔や目に入った場合は、直ちに医師の診察を受けて下さい。  
 ●塗料が鼻や喉に付いた場合は、水を飲んで洗い流してください。  
 ●塗料が皮膚に付いた場合は、40℃以下で干布の手ぬぐいなどで場所を固めて洗浄して下さい。特に下記場所の塗料は避けて下さい。  
 - 海水や塩素日光の当たる場所・高温多湿の場所・塗料の起りがある場所など  
 ●塗布する時は、直業作業服として着用して下さい。  
 ●詳細な内容が必要な時は、製品安全データシート(MSDS)をご参照して下さい。

## ■ 竹林化学工業株式会社

☎577-0836  
 東大阪市茨川町3-1-43  
 TEL 06-6721-6165(内)  
 FAX 06-6720-7308